

第1回 御前崎海岸浸食対策意見交換会

日時 平成26年10月14日(火) 14:00~

場所 御前崎市役所御前崎支所

参加者 松井・野口



県の土木事務所・御前崎市・サーフショップオーナーや海亀を守る会の方々が参加されました。

- 議事 1) 御前崎海岸浸食対策について 2) 26年度第2回養浜工事について

① 侵食の状況 1

【砂浜の消失】
1990年代は御前崎海岸の灯台西側付近に砂浜が広がっていたが、現在はほぼ消失している。砂浜が残る西側領域においても侵食が進行している。

御前崎灯台西側
1990(H2)年7月13-14日撮影
天文測位T P-0.36m(1階)

また砂浜が残る西側領域
2013(H25)年12月2日撮影
天文測位T P-0.2m(1階)

2013(H25)年12月撮影

① 侵食の状況 2

【護岸の被災や越波】
侵食の進行により砂浜が消失し、海岸護岸の被災や越波による県道の通行止めが頻発している。

① 2009(H21)年台風18号による被災
2009(H21)年10月8日撮影

② 越波痕跡(2013(H25)年台風26号時)
越波による県道通行止めが頻発
2013(H25)年10月16日撮影

③ 2007(H19)年台風4号による被災
2007(H19)年12月撮影

④ 2010(H22)年台風14号による被災
2010(H22)年11月1日撮影

2013(H25)年12月撮影

③ 過年度の侵食対策内容(養浜) 5

H19~H26年度6月(8年間)の総養浜量は約60,000m³

年度	実施時期(※は予定)	投入箇所	内容	
			養浜量(m ³)	採取箇所など
H19		荒川左岸	5,000	浜岡原発沈砂池砂
H20	2008年12月	荒川左岸	493	浜岡原発沈砂池砂
	2009年3月	荒川左岸	556	浜岡原発沈砂池砂
H21		荒川左岸	1,600	浜岡原発沈砂池砂
H22	2012年2月	荒川左岸	3,000	浜岡原発沈砂池砂
	2012年2月~3月	荒川左岸	2,300	浜岡原発工事発生土
H23	2012年2月	尾高東側	200	御前崎港浚渫土砂
	2012年6月	尾高東側	200	御前崎港浚渫土砂
H24	2012年9月	荒川左岸	1,200	浜岡原発沈砂池砂
	2013年5月~6月	尾高東側	3,500	御前崎港浚渫土砂
H25	2013年12月~2014年3月	尾高東側	8,800	荒川・中西川河口掘削土砂
	2014年6月	尾高東側	10,600	御前崎港浚渫土砂
H26	2014年10月~12月	尾高東側	10,000(予定)	浜岡原発工事発生土 荒川河口掘削土砂

尾高東側、検討対象から約1.5km西側
2013(H25)年12月撮影

荒川左岸、荒川河口から500m離れた箇所
砂浜消失区間(No.8+400m~No.8)
2014(H26)年5月撮影

今年度以降の予定

今年度、各工事に伴い、第2期工事が決定予定よりも多くの砂を入れて頂けるという事!

11月より12月中旬の工事を予定しています。

今後もマリnparkの砂がある限り、毎年1から1,5万m³を搬入予定

現在の工事中の問題点

海亀保護地区には搬入されていない為、県に許可をとり今後は少しでも東側に砂を入れることができれば、良いと思う。

荒川の砂は粒子が大きめなので風による砂の吹き上がりが少ないが、マリnparkの砂は粒子が細かいので非常に風で飛んでしまいがちである。

砂浜にあまり高く積み上げないことで少しでも問題解決ができれば、良いと話しました。次世代に大事な砂浜を残す大事な活動です。多くの方に関心を持っていただき、皆で協力して少しでも環境保護につながればと思います。